

日付	チベット本土などの動き	海外の動き
2008/3/8(土)		新宿でチベットピースマーチ。約60人が参加。
2008/3/10(月)		「チベットへの帰還マーチ」がダラムサラを出発。
2008/3/14(金)	ラサでデモ。10時すぎ、ジョカン前に集まった人々が銃撃され、100名以上の死者。	
	16日にかけてラサ各地で深夜に一斉家宅搜索。街頭での抗議参加者、無許可滞在者らが連行される。	
2008/3/15(土)	テレビでは「犯罪に関与したチベット人10人が死んだ」と報道。	
	朝、ラブラン周辺の子供たち数百人がデモ。数千人の公安が包囲するが衝突せず。催涙弾が群衆に打ち込まれる。ラブラン寺には3000人以上の子供たちが集まった。	
	リタンで遊牧民がデモを始めたが、リーダーがすぐに拘束される。同じ日にまたデモが起きたが、参加した僧侶一人が拘束され、一触即発の状況に。	
	デブン寺やセラ寺を始めとする僧院の僧侶たちがデモを始め、それに対する中国政府の制止（または弾圧）を引き金として、怒った市民が抗議行動を展開。ラサ市内の道路はすべて封鎖。	
	カンゼ県の道字（タウ）で抗議行動。10台のトラックに乗った公安により、セシル寺が包囲される。	
	ラサのアニ・ツァンクン（尼僧院）に数人の遺体が運び込まれる。自治区全体で67人が死亡との公安情報。	
2008/3/16(日)	西北民族学院（蘭州）のチベット語学科の学生たちは、大学構内で平和的なデモを行った。1000人以上の学生が参加したが、学外から参加しようとした人々は合流を阻止された。	
2008/3/17(月)	アバ（四川省阿壩）キルティ・ゴンパの近くでデモを行っていたチベット人のうち、8人が射殺される。	
2008/3/18(火)	北京民族中央大学のチベット語学科の学生40名がチベットでの死傷者を悼んで静かな抗議。公安に軟禁される。	
	カンゼで14時5分すぎ、抗議行動。僧侶と民衆が参加して、「ダライ・ラマに長寿を」「チベットに自由を」と叫びながら、ピラを配る。デモを先導していた僧侶1人が撃たれて死亡。10名が逮捕。僧侶の遺体は公安が押取りし、勝手に火葬。	
	リタンでは300人以上の子供たちが抗議。ダライ・ラマの写真とカターを持っていた女性が公安に逮捕される。	
	アムド・ゴロの僧侶ら300名がデモ。政府でチベット旗を掲げる。午後4台のトラックに分乗した武闘派が到着し、デモ参加者を次々と勾引。	
2008/3/20(木)	阿壩の抗議行動での死者は18人になった。キルティ・ゴンパだけで15人が葬られた。郊外で3人の遺体が確認された。	
	ラサでは武闘派に護られた公安がチベット人の民家を搜索している。公安は居住許可証をチェックしていて、許可を持たない者を問答無用で拘引している。許可を得ていたとしても、何か疑いがあれば同じように連れて行かれてしまう。	
	セルタのキクに1000人の武闘派が配置され鎮圧始める。17日から政府に掲げられていたチベット旗を降ろす。抵抗したチベット人2人が死亡、8人が重傷。セルタ・セラ寺の僧侶らが死亡した2人を悼んでデモ。	
2008/3/22(土)		六本木でデモ。警察発表で900人が参加。
2008/3/24(月)		ギリシャのオリンピックで「国境なき記者団」メンバー3人が北京五輪の聖火採火式を妨害。
2008/3/25(火)	カンゼのテロで300人ほどの僧侶たちがダライ・ラマの肖像を掲げてデモ。	カトマンズの国連前でチベット人が抗議。200人が一時逮捕される。

日付	チベット本土などの動き	海外の動き
2008/3/28(金)	USAトゥデー、WSJ、FT、共同通信、韓国KBS、香港TVB、フェニックステレビなど選ばれた外国メディアがラサを取材。ジョカン前で30人ほどの若い僧侶が一行を取り囲み、「彼らはあなたたちを陥れようとしている。彼らは嘘つきだ、信じてはいけない」と叫び始める。	
2008/3/29(土)	14時頃、ラサ市内の北京中路近くに数百人のチベット人が集まり、抗議行動。	
2008/3/31(月)	ジャムヤン・キラゴロ出身の文化人5人が検挙され、西寧へ連行される。	
2008/4/1(火)	3/15のベンボ・ルンドゥブでの抗議に参加し逮捕された31歳の農民が拷問死。	アムネスティ・インターナショナルが北京五輪を前にした中国の人権状況に関する報告書を発表。チベット自治区での暴動に対する中国政府の対応に触れ、「人権に関する国際的な法や基準に反する手段を講じた」と指摘、武力による鎮圧を批判。
2008/4/3(木)	20時頃、カンゼ（甘孜）にあるトンコーゴンパの僧侶数百人と住民数百人が集まっているところへ、武闘派が発砲した。15人が亡くなり、数十人が負傷。	
2008/4/5(土)	カンゼのタウで約1000人のデモ。公安が発砲し、15人が負傷、うち5人が重傷。	
2008/4/7(月)	ラブラン寺を訪れた外国人記者団に対して告発を行った僧侶2人が行方不明に。	
2008/4/10(木)		ダライ・ラマ法王がデリーからシアトルへ向かう途中、成田でトランジット。午後記者会見。「それぞれが思っていることをどのように表現するかは、それぞれの自由だ。誰にも黙れという権利はない。ダライ・ラマでさえも」。
2008/4/12(土)	「違法教育」の一環として組織された工作単位がデブン寺で愛国教育キャンペーンを開始。懐疑的な僧侶数人が公安に連行される。	
2008/4/13(日)		渋谷から代々木公園へキャンドルマーチ。
		「チベット問題を考える長野の会」が善光寺前で、チベットなどで起きた抗議行動の犠牲者を悼む追悼式を開催。小雨が降る中、市民ら約70人が参加。
2008/4/15(火)	セラ寺のほとんどの僧侶がトラックで連行される。	
2008/4/18(金)		善光寺が聖火リレーの出発地点として境内を使うことを辞退。若麻績信昭・寺務総長は「チベットの人権への弾圧が行われていることについて同じ仏教徒として憂慮した」と。
2008/4/19(土)	抗議活動の写真と情報を香港の記者に渡した容疑で、タウ在住のチベット人が逮捕される。	名古屋でフリーチベットデモ。
2008/4/23(水)	カンゼで3月にダライ・ラマのチベット回帰を求めてデモを行った僧侶2人が逮捕される。その逮捕に抗議した14人の僧侶も拘束。	
2008/4/26(土)		長野市で北京五輪聖火リレー。出発式と同じ時間に、開催地を返上した善光寺で、ラサで亡くなったチベット人と中国人あわせて36人の追悼法要が行われる。チベット青年会議台湾支部の副支部長、タシ・ツェリンが聖火リレーに抗議して警備陣に体当たりして勾留される。市内各地で中国人留学生たちとチベット支援者との小規模
2008/5/1(木)		米国のナンシー・パウエル駐ネパール大使がコイララ暫定首相と会談。カトマンズで行われているチベット人の抗議活動への過度な取り締まりを抑制するように申し入れる。
2008/5/4(日)		ダライ・ラマ特使のロディ・ギャリ、ケルサン・ギャルツェンが共産党統一戦線工作部代表と広東省深圳で会談。
2008/5/5(月)	中国人の看守によって刑務所で冷酷な拷問を受けたアバ郡のチベット人女性が死亡。	
2008/5/6(火)		胡錦濤中国共産党総書記が来日。東京・外苑での「チベットを救え！大集会&デモ行進」に4200人が参加。大阪でもデモ開催。

日付	チベット本土などの動き	海外の動き
2008/5/7(水)	数千人の武装警察官がラブラン寺を制圧し、140人の僧侶を逮捕。	
2008/5/8(木)	聖火登山隊がエベレストに登頂して聖火を点灯。	早稲田大学で胡錦濤中国共産党総書記が講演。チベット支援者が抗議。
	チベット人をターゲットとした「再教育」がラサで進行。電話がつながるようになる。ラモチェ近くの一部店舗が営業再開。	
	デブン寺などで世界平和と北京五輪の成功を祈願する法要。デブン寺で400人、セラ寺で350人の僧侶が参加。	
2008/5/9(金)		セーブ・チベット・ネットワークが32,138筆の署名を国連と日本政府へ提出。
2008/5/10(土)		SFT HQが聖火のチベット通過に合わせて世界各地でキャンドルを灯すよう呼びかけ。
2008/5/12(月)	マルカムの寺院で「愛国再教育」運動を拒絶した若い僧侶ら18人が逮捕される。	汶川でM7.8の地震が発生。当日だけで死者7651人。
2008/5/13(火)	カンゼで3人の僧侶がチラシを配り、ダライ・ラマ万歳とアピール。すぐに連行される。	
2008/5/22(木)		ICTが各国首脳の北京五輪開会式ボイコットと、聖火のチベット通過を非難する署名を呼びかけ。
2008/5/24(土)		護国寺で在日チベット人コミュニティによる四川大地震犠牲者の追悼法要。
2008/5/25(日)		エベレストにネパール側から登頂したヨルダン人登山者が頂上でチベット旗を掲げる。
2008/6/3(火)		カトマンズで尼僧らチベット人女性30人以上が抗議デモ。15分で警官隊に鎮圧される。
2008/6/4(水)	香港・マカオ・台湾からの報道陣33名がラサを取材。	ウッタラプラデシュ州のペリナクで「チベットへの帰還マーチ」参加の265人がインド警察に一時逮捕される。インド-中国国境まであと180キロの地点。
2008/6/5(木)		カトマンズでのデモ参加者が250人以上に増加。6人が負傷。187人が一時逮捕される。
		アテネで行われたIOC理事会でチベット人らが「ダイ・イン」。8人が警察に連行される。
		米国上院の3人の議員がライス国務長官宛に、チベット人デモ参加者の解放を中国に求める親書を送る。
2008/6/7(土)		カトマンズで大規模デモ。警察発表で450人が逮捕される。
2008/6/15(日)		護国寺で在日チベット人コミュニティ主催「サガダワの法要」。TCHRD制作の映像が上映される。
2008/6/17(火)		インド・チベット国境のダチュラに到着した「チベットへの帰還マーチ」参加者50人がインド警察に逮捕される。
2008/6/18(水)	四川大地震の影響で聖火リレー日程延期をBOCOGが発表。	聖火リレーのチベット通過に抗議するGlobal Day of ActionをSFT HQが呼びかけ。
		芝増上寺で「宗派を超えてチベットの平和を祈念する僧侶の会」第1回結集。
2008/6/21(土)	ノルブリンカの前から聖火リレー走者がスタート。ラサ市内は厳戒態勢。	聖火リレーのラサ通過に合わせたキャンドルイベントが各地で開催。
		東京・谷中で「Compassion in Exile ドキュメンタリー『慈悲を生きる』上映会&トーク」。ツェワン・ギャルポ・アリアヤさんが講演。
2008/6/22(日)	カンゼ各地で数名の青年たちがダライ・ラマの長寿とチベットへの帰還を祈る平和的な抗議デモ。中国武警にめった打ちにされる。	
	聖火リレー取材の報道陣がセラ寺を訪問。「多くの建物や庭は空っぽと言ってよく、全部で10人ほどの僧侶がいただけ」。	
2008/6/25(水)	外国からのツアー客受け入れ再開。2人のスウェーデン人老夫婦がラサに到着。	

日付	チベット本土などの動き	海外の動き
2008/6/29(日)		逮捕されていた「チベットへの帰還マーチ」参加者が釈放され、ダチュラで終了式。
2008/7/2(水)		チベット亡命政府のケサン・ヤンキ・タクラ外相が来日。学士会館での「アジア・パシフィック公開フォーラム」で講演。
2008/7/6(日)		全国各地で「チベット・リンカ・アクション」。代々木公園には50名が集まる。
2008/7/12(土)	リタンで毎年恒例の競馬祭りが中止に。	
2008/7/13(日)		TYC主催の「フリーチベット世界トーチリレー」が来日。渋谷で1時間強のマーチ。
2008/7/24(木)		HRWがネパールにおけるチベット人への人権侵害と中国政府の圧力に関するレポートを発表。ネパール政府は3月10日から7月18日までの間、延べ8,350人を逮捕したと報告。
2008/7/25(金)		東中野のボレボレ坐で来日中のパルデン・ギャツォ師講演会。
2008/7/28(月)		ニューデリーで北京五輪に反対するTYCメンバーら6人が無期限のハンカーストライキを開始。ハンスト開始に先立ち、チベット人僧侶約200人が抗議の座り込み。
2008/7/30(水)		五輪選手にチベットのために立ち上がってもらうことをアピールする「アスリート・ウォンテッド」の広告がNYTに掲載される。
2008/8/3(日)		鎌倉でSFT主催のウォークイベント「歩こう！チベットの自由のために」。約40人が観光客や海水浴客にアピール。
2008/8/6(水)	北京国家体育場近くでTibet Will Be Freeなどの横断幕広げた英米の活動家4人が連行される。	ミネソタ州在住のチベット人女性が北京国際空港に到着直後、12時間に渡り拘束され、強制送還される。
2008/8/8(金)	北京五輪開会式1時間前に国家体育場などで3人のチベット支援者が「雪山獅子旗」など掲げ、すぐに取り押さえられる。	新宿・常盤寺で「チベットの平和を願う夕べ」。参加者約100名。Candle Juneさんも参加。
2008/8/9(土)	天安門広場でドイツ在住のチベット人女性ら5人がチベット国旗を体に巻き付けて横たわり、北京五輪に抗議。	五輪開会式に合わせ、六本木でTCJ主催の「チベットを返せ！～Tibet for Tibetans～」デモ行進開催。主催者発表600名、警察発表200名。夜にはキャンドルライトイベントも。
		シカゴ、トロント、ニューデリー、ブリュッセルなど世界各地でチベット人、チベット支援者がデモ。
2008/8/13(水)	英国在住のベマ・ヨーコら5人が北京市の中華民族園入口を自転車で封鎖して「チベット人が自由のための死んでいく」という横断幕を掲げる。	
2008/8/15(金)	中国中央放送局の北京五輪看板の上に、「Free Tibet」、「西藏自由」と書かれた横断幕が掲げられる。30分後に5人のチベット支援者が逮捕される。	ニューヨークのグラント・セントラル・ステーションで約250人のチベット人と支援者が「フラッシュモブ」実施。
2008/8/19(火)	北京のオリンピック公園で5人のチベットサポーターがLEDを使い、英語と中国語で「Free Tibet」の文字を浮かび上がらせる。	
	北京国家体育場近くでドイツ在住のチベット人ら3人がチベット旗を広げ、「フリー・チベット」と叫んで連行される。取材した記者も一時拘束、メモリアードを没収される。	
2008/8/20(水)	ラランで大雨による土石流。4人が死亡、100人以上が負傷。	
2008/8/22(金)		バリ訪問中のダライ・ラマ法王がカムで8月18日に武装警察が群衆に発砲し、140人が殺された可能性があると言。
2008/8/24(日)		北京五輪閉会式に合わせ、渋谷でTCJ主催のサイレントマーチ。雨の中約250名が参加。
2008/8/25(月)	シガツェのチュンパでM6.8地震。541戸が被災。	
2008/9/6(土)	青海ゴルムド監獄に3月から拘束されていたンガバ・キルティ寺の僧侶ら50～80人が帰郷。	